

逸話3 拝領する国をどうする？

関ヶ原の戦い後、家康から秀康に対して「越前・播磨のうち希望する方を与える」との沙汰がありました。播磨と越前はともに米のよく獲れる国として「一播^{いちばん}二越^{にえつ}」と称されていました。

この逸話では、秀康自身は当初播磨を拝領しようと考えていましたが、越前出身の家臣・長谷部采女^{はせべうねめ}の進言により、結局越前を選択しています。ちなみに秀康が越前に入国した1601年（慶長6）は大雪に難儀したようで、「お前は自分の国だからといってこのような雪が多い地方を勧めたのか」と采女を叱りつけたということです。
(「南越雑話」「片聳記」)



播磨国？

(現・兵庫県南西部)

越前国？

(現・福井県嶺北地方と敦賀市)
※岐阜県北西部の一部も含む



左図：「播磨国絵図（元禄）」（国立公文書館デジタルアーカイブ）
右図：「越前国絵図」松平文庫（当館保管）A0143-21177